

2023年6月号

さわやか祭り

4年ぶりに社会福祉法人南知多創立記念祭「さわやか祭」を開催しました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、たくさんのご来賓、ご家族の方々においでいただき誠にありがとうございました。



式典では、ご来賓の横田愛知県議会議員並びに石黒南知多町長よりご挨拶をいただき、ご来賓紹介のあと、役員感謝状贈呈、職員永年勤続表彰を行いました。表彰の後に、インドネシアからの技能実習生11名も、ご家族へ紹介しました。

アトラクションでは、DLYBダンスカンパニーの子供たちによるダンスが披露され、ご利用者は熱心に見入っていました。



あい寿の丘「紫陽花飾りの傘」

5月に入り、東海地方も梅雨入りしました。

そこで、雨の日は必ず使うビニール傘を可愛い紫陽花模様にししました。葉や花をシールにして、傘にはりつけます「葉っぱはそこに貼ろう」「花の数はもっと増やして」「ここら辺に花を大きくしよう」などご利用者同士でワイワイと楽しんで作ってみえました。



南知多町デイサービス「壁面作り」



3年ぶりのさわやか祭に向けて、壁面をがんばって作りました。タイトルは「愛のはな」です。

ご利用者に色画用紙をハートの形に切っていただき、ハートを組み合わせてお花を作りました。遠くで見ると、愛のはなの木が浮き出て、立体的に見えます。

壁面を飾った後、ご利用者が、「あっ、まっくろくろすけがいるね」と、花びらにかくれていたのを見つけました。

南知多町デイサービス「緑のカーテン」

今年も夏に向けて、緑のカーテンになるゴーヤの苗を植えました。

緑のカーテンは、強い夏の日差しを和らげるなど、様々な効果が期待できる「地球にやさしい自然のカーテン」です。

ゴーヤの弦がしっかり窓を覆えるように、昨年よりネットを高く設置したので、効果が期待できそうです。ゴーヤの実がなるのも観察でき、収穫までが楽しみです。



みなみ苑「モーニング」と買い物

コロナ禍になってからは、飲食を伴う外出は控えていましたが、感染者が少しずつ減少してきたので感染予防に努めながらお出かけしてきました。近くの喫茶店へモーニングに行き、帰りに魚太郎で買い物をしてきました。

「外の空気はええね」「美味しいパンだね」「また連れてってね」と嬉しそうにお話ししてくださる姿を見て職員も嬉しく思いました。



みなみ苑「花壇」

みなみ苑のベランダ花壇を、毎日ご利用者がお世話をしてくださっており、5月初旬頃キンギョソウが満開になりました。

色とりどりのキレイで立派なキンギョソウです。「強い風がふいても倒れんで立派だね」「目の保養だね」と毎日楽しませてもらっています。



みなみ苑「ぜんざい」

ご利用者と一緒に手作りおやつで、甘さ控えめであっさりの「冷やしぜんざい」を作りました。梅雨入りも例年より早くジメジメ蒸し暑い日でしたので、冷やしぜんざいは涼を感じるのにちょうどよく「美味しいね」「おかわりいいの?」と言っていただき、ご利用者の皆さまに好評でした。



ひだまり「日向ぼっこ」

ひだまりで、天気の良い日にちょっと中庭へ出て日向ぼっこをしました。

すがすがしい太陽の日差しの下でのんびり椅子に腰かけて、花を眺めて過ごすのもいいものですね。

「ほっかぽかで気持ちがいいね」とご利用者の皆さんご満悦でした。



ひだまり「アヤメ」



ひだまりで、ご利用者の方に「5月はどんなお花があるかな？」と問いかけたところ「アヤメ」「菖蒲」「フジ」等とたくさんのお花の名前が出てきました。

そこで、折り紙で「アヤメ」を折ってみることにしました。ご利用者同士で力を合わせ、出来るところを少しずつ折っていき、ノリで花と茎を貼り合わせて完成です。指先を使うのはとても大変でしたがこんなに素敵に出来ました。

そよかぜデイサービス「母の日」



女性のご利用者より、「どら焼きが食べたい」とリクエストがありました。母の日のお祝いでどら焼き作りをしました。



粉を混ぜ、ホットプレートで生地をこんがり焼きました。トッピングであんこと生クリームをお好みで挟んでもらいました。和気あいあいとした雰囲気でも召し上がっていました。